

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔23〕 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	あさくさ・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区谷中2-17-20					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~2日を除く)8時30分~17時15分					
(5)規模	延べ床面積 2,794.36㎡の内380.28㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部					
(6)人員体制	12名 内訳...介護職員(常勤4、非常勤6)、看護職員(常勤1、非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、介護予防通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員35名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	14,405,000	2,881,000	12,739,000	11,539,005	10,302,000
	料金収入等	82,157,000	95,523,000	87,528,000	89,091,995	85,955,000
	管理経費	96,562,000	98,404,000	100,267,000	100,631,000	96,257,000
決算	委託料	6,173,000	2,881,000	12,739,000	11,488,562	10,302,000
	料金収入等	100,589,198	96,434,449	79,079,790	91,857,448	90,838,667
	管理経費	104,566,218	105,103,615	97,058,935	93,485,443	87,849,757
	収支	2,195,980	-5,788,166	-5,240,145	9,860,567	13,290,910
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	311	311	312	313	
定員	人	35	35	35	35	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率	%	93.0	90.4	91.6	90.7	
利用者数	人	10,200	9,835	9,999	9,938	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
施設で提供している普段の食事を地域の方にも召し上がっていただく「日曜レストラン」やソフト食・なめらか食の提供といった独自事業に引き続き取り組むとともに、経費の縮減が図られた。				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.3]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [3] [3] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	S	施設の食事体験を行う日曜レストランや施設入浴サービスを実施するとともに、配置基準以上の職員を配置するなど、サービスの向上に努めている。また、緊急時事業継続計画（BCP）を作成するなど災害対策における取り組みも充実している。		
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。施設の老朽化に伴う修繕等についても適切に行われている。		
(3)利用者の満足度	A	満足度調査において概ね高い評価を得ている。また、地域との交流も密であり、町会と協力し、夜警や地域行事への参加を積極的に行っている。		
(4)歳入歳出	A	経費削減に取り組んだことにより、収支の改善が図られるなど、予算は概ね適正に執行されている。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
		妥当	経費削減に取り組みながら、日曜レストランや施設入浴サービスなど独自の取組みを行っている。また、緊急時事業継続計画を作成するなど、災害対策に関する取り組みも充実している。	
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
利用者の満足度調査では概ね高い評価を得ており、施設の管理運営についても適切に実施されている。今後もサービスの向上とともに、利用率の更なる増加を目指す必要がある。				